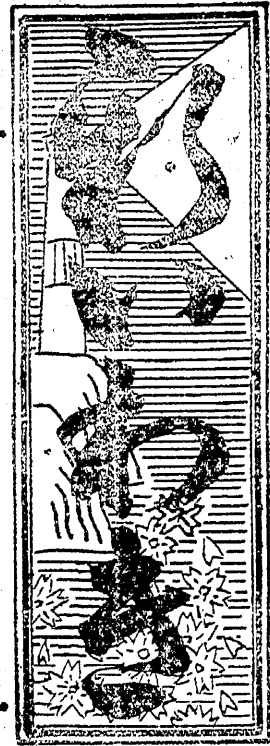


【刊夕日七月二】



町當局の節約的手腕

豫算は四萬圓程度

總てを財界不況に鑑みられ

平町の戸割は二圓弱の減か

平町の昭和六年年度豫算に對する町當局の編成苦と町内有志の希望は概に本紙上に掲載したる如く財界不況の振弊に處して可及的の軽減

欲しら

るる廿五日以前に於て招集するらしき豫算者の六體方針は通常豫算廿四萬圓程度に切詰める整理方面を町吏員によつて英斷をとるもの如く

其の爲

服役場費の決意を見ざる模様であつて歳入歳收の見込とするものは縣稅附加に於て一萬圓特別戸數割では昭和五年年度の四十六百九十戸に對する

一戸平均

約十八圓四角十錢を新年度現行四十七百五十戸に平均十六圓六十五錢とする七萬九千餘圓を以て七千餘圓の減少を計り前年度の當初豫算に計上されたる役場建築費七萬五千圓は其の財源としたる

縣社の社頭で

建國祭

平町在郷軍人青年團の主催

平町在郷軍人分會及び同町青年團主催で来る十一月廿四日午後十時縣社子館倉庫神社に於て三萬二千餘圓の現金を有してあるけれども此際これを貸し付け徹徹尾節約を以て國體立揚の建國祭を執行するに當りは徹徹尾節約を以て國體立揚の建國祭を執行するに當り、本町で過ごさうとしてゐる後立國の血ほど走る旗行列を行ふことになつたが前記社頭の式典を初め參列者は相當多數に上る模様である

平町は名譽でもない

縣下第三位の借金高

一戸平均が百九圓十七錢

白河や須賀川が羨ましい

財況稍好轉を唱ひられては新豫算期を定めた町當局は居るものゝ地方としての需給までも節約主義で此のひが来た元を打撃くべき難關を切掛けとしてゐる氣に怯へ切つた人心には平町の如き其の爲の豫算だ／＼期らかなるを迫ひられそうもない地方

大關は

水道布設早

若松市で次が福島市第三位には總額の大きい郡山市が一戸當りに少なく負債高は低いけれど一戸も平均に於て少なくない平町が相並んでゐる何れを

借金の

上位かと云

へば勿論戸當り額の多いものに償還苦がある次へて平町より稍小さい白河及び須賀川兩町のそれを對比するときは平町民に相當の考慮

石城に九萬一千餘圓

鑛稅移讓が實現せば

惠まれる譯だが氣遣はれ

るものは徵稅の成績だけ

石城郡下炭鑛所在地町村に於ても熱心に運動中である鑛業稅の地方移讓は衆議院に於ける絶對多數を以て右稅法改正案が通過してこの

貴族院

に回付され

る同議院にも關係各町村が希望達成の爲め兎に猛運動をなす模様であつて同案は今回こそ全通過を見込まれてゐる石城郡現在の

煙草元賣捌の現況

安いのが大賣行も

巻煙草では朝日、刻みては

はぎが全盛を極めてる

一層容易でなからうと想像交付して貰つたらばと語るされ出来るならば徵收を従ものもある

奉祝放送

東京音楽學校から

京音楽學校では國歌祝日歌來る十一日の紀元節當日東京音楽學校で中央放送

煙草の

「みのり」は

割合に入氣がなく八百四十圓の賣行きに過ぎない刻み煙草方面では矢張り格安の「なでしこ」の約九千圓が上位を占め次は「はぎ」の四千七百圓「あやめ」では二千七百圓「さつき」に至つては

平の人事

出生

平町字五丁目一六甲中繁三男三郎二月三日午後九時三十分

日用品の

小賣相場の

平町最近に

平町に於ける日用品小賣相場最近の調査によれば大體前月と大差なく唯米價は一著降、學校長入場、御眞キロに對する二錢高くなつた其の各單價左記の如くである

- ▲白米一等(一キロ)一五錢、二等(一四錢)、三等(一三錢)▲白麥(同)一三錢、平麥一六錢▲味噌一貫匁六〇錢、醬油一升四錢、清酒同九〇錢▲木炭檜丸一貫匁二四錢、同割一六錢、同雜一八錢▲砂糖白糖百匁一四錢、赤同一一錢▲肉類百匁豚(上)四〇錢(並)三〇錢、牛(上)五〇錢(並)二五錢

俳句

立春

滿喜莊主人
春寒し貧女がこぼす涙ご
暁露
云ふ春景であります机上の
何處ではこんな境地は到底
見付かりませぬ
寒町や春寒さうなわびす

立春

春寒し貧女がこぼす涙ご
暁露
云ふ春景であります机上の
何處ではこんな境地は到底
見付かりませぬ
寒町や春寒さうなわびす

さ哉

北山
女が漸く工面工夫して登升
か蹴升の米を買ひ袋に入れて
来た袋は破れてあたら
米も漏れた丁度春寒の折柄
どき貧女のはつと顔色
がいかに痛々しかつたと
云ふ春景であります机上の
何處ではこんな境地は到底
見付かりませぬ
寒町や春寒さうなわびす

地方の意義 (五)

自治 Y R 年

市町村會の組織
 (一) 一定員、市町村會は一般公民中から選出された市町村會議員から成り立つ、その定員は市町村制に於て人口數を標準とし原則が規定されて居る。市では五萬以下三十人を最下限とし三十萬以上の四十八人を最上限とされてゐるがそれ以上の人口數に應じて増員することが出来る、現在東京市の如きは八十四人である、市町村では人口五千未満の十人を最下限とし二萬以上の三十人を最上限とされてゐる。

市町村會議員は一般公民から選舉されること前述の通りであるが以前は等級選舉が行はれた公民を納税額から二級若くは三級に分けて各級から等級の議員を選んだのだが正十五年の改正で撤廢された。

(二) 選舉權、被選舉權、市町村公民は原則として選舉權があるけれども公民權停止中のもとは軍隊生活をしておる者等の如く特に選舉權を行使し得ないものがある、次に選舉權がある者が被選舉權を有するのが原則であるが職務の關係上その權利を除外された者があり又一定の制限を加へられてゐる者がある。

三市町村會議員の地位市町村會議員は名譽職であつて選舉された以上は濫りに

院醫沼藤
 平町
 電話七〇五番

山澤荷人物冬
 店服吳関伊

○破格の勉強で
 歡迎される
 大角園
 半谷商店
 平大町若松病院隣

キリスト座席で氣まぐさ
 フランス料理の献立
サロン
 平日町
 電話三五三

煙突は...
朝日
 石綿セメント製
 煙突の
 絶對に
 はげあ
 やけあ
 くさあ
 経済的
 突の心の
金屋商店

スペイン G.H.N 元詰
 甘味葡萄酒
 ゴルフポートワイン
 1.10
 御婦人の方には少し水を加へて
 召し上るご風味一そう佳長です
 (二平) **西村屋薬舗** (電三)

驚異的の効果を
 有する婦人薬
美神丸
 座薬
 内服薬
美神湯
 婦人病に悩む方
 々に一度は實験
 を勧む
 町代理店 平日五丁目角
山野邊藥局

安くて...
 うまくて...
 品がよい...
カフェー
タヒラ食堂
 電話二六〇番

噂の種
 歳末景品付特賣
 舊廿日より晦日
モリタヤ洋品店
 5丁目電 353

表代城磐
 酒銘
合
 美味経濟
ヤマノエ
 社会合山
 電話十番

よく出来たと云はれるまで
 これは早いと
 言われるほど
 迅速に
 皆さんに満足
 されるほど
印刷
新報
 破格の勉強を致します

磐城共済會 (電話六四二番)

衛生試験所
 救急相談所
 救急治療所
 本院
 本院内
 相談所へ御話し下さい

光線科 (物理學的診療科)
 院長 醫學博士 難波 睦
 本院主管 賀澤 忠治
 本院内
 相談所へ御話し下さい

各科
 専門醫
外科
 皮膚泌尿科
 整形外科
 内臓外科
耳鼻咽喉科
 産婦
 女子泌尿科

入院料 一般 金貳圓也
診察料 院長及其他の博士に限り、一般金三圓也
 平町本會員金二圓也
 木會員金壹圓五十錢
 尚地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也
 本院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

アゲア
 幾多の治療劑中超然として偉効薬能を有するものは獨り本劑のみ
肺病、肋膜炎、肺炎、カタル等
 定價(二圓、四圓、六圓)
 平町五丁目角
特約店 山野邊藥局



貨物の動きに見せる

平地方購買力の激減

一月中に於て到着貨物が
三千六百八十六噸の減少

新曆の一月から舊年末に亘る激減であつて當地購買力
の半町街頭は茲許不景氣地方の振はざる事實は想像に
回る爲め各商店共賣出に焦餘りあるものがあるとい
つてゐるが行詰る農村民は
容易に踊出さないので

店頭

寒風に寂しく打た、かれて
ゐる此の状況を示すものは

平驛の貨物の動きで惨めな
様子を深刻に物語つてゐる同
驛に於ける一月中の貨物の
發着は左記の如く

發送

前年同期よ
り廿七噸を増加し居るも到
着は實に三千六百八十六噸

石城町村長支會で

新豫算附議の總會

併議された教育會豫算
並忠魂祭費五千七百餘圓

石城町村長支會では去七
日午後一時から平町團體講堂
務所樓上に於て總會を開きて
昭和六年度豫算二千四百九
十圓を附議したが前年度の
三千圓に

減るばかりで殖えぬ

平郵便局貯金の現況

平郵便局に於ける去一月末
現在の貯金取扱高は附近炭
礦の不振と農村の疲弊で拂
戻しが非常な増加を示し全
額千七百六十八口此の
金額十 七萬六千七
百八十二圓で一口平均九
九圓に當り次に預金にあり
ては六千八百八十八名金額二
五萬七千五百廿九圓此の平
均額四・二圓に止まつてゐ
る現在の状況では當分

内郷共済會の

救済施設

石城郡内郷村の共済會は同
村大内民恵氏その他有志を
結ぶる卒先活動に躍進まし
て救済を以てけることは會
報したが最近官署方面に委
託を以て其の趣旨宣傳の結
果僅かに三時間にして三百
二十七名の會員を得白米
二斗七升七合五勺現金
四圓五十八圓を募り白米
一石一斗七圓の割で金に換
へ同會報の内に郵政収入役
齋藤彌一氏に保管を託し委
員の傳票で共済事業に支出
することになつたと

家具家財を

妻の逃走

夫の不在中入
念な行方不明
本縣郡山市の旭町金坂兼次

不景氣をこぼし乍ら

赤ちゃん丈は殖えぬ

平町一月中の出生八十名
之に對する死亡六十三名

平地方で窃盜

四十三件

鎌田居住の男
疾走中 後方から來
た平町野崎野崎部運轉手
同部赤井村の西小川生れ佐
藤一雄(三)の線路する乗合
の爲め下敷となり兩手背部
及び左足その他に治療二週
間の打撲擦過傷を負つたが
此の交通事故で

運搬夫が

首を轢斷

好間村津川
炭礦に於て

俳句

立春

満壽莊主人
瀟々

出生

疾走中

後方から來
た平町野崎野崎部運轉手
同部赤井村の西小川生れ佐
藤一雄(三)の線路する乗合
の爲め下敷となり兩手背部
及び左足その他に治療二週
間の打撲擦過傷を負つたが
此の交通事故で

死亡

立春

満壽莊主人
瀟々

交通事故

三ツ巴

自動車と馬と
自轉車の衝突

石城郡高久村の下高久字馬
場本馬受之助(三)は去八日
午前十時廿五分頃同部飯野
村の谷川瀬字中山から地内
縣道を平町に向つて自轉車
を

